

～モットーは「初心忘るべからず！」～  
杉野 猛志さん（松山市）

有限会社 まるとし果樹園 取締役社長  
JA松山市果樹部会 部会長 1969年生まれ



☆経営概況☆

1995年に就農。2005年には母と妹と一緒に、一戸一法人を設立。

伊予柑 2ha、その他にも温州みかん、不知火、カラマンダリン、甘平、せとか、合わせて 1ha を生産しています。

☆ここがポイント☆

■興居島ブランドを守っていききたい！

先代の師たちが築き上げた「興居島ブランド」。島では後継者不足が課題ですが、「興居島ブランド」の確かな品質と誇りを胸に、地域全体で産地を守るために頑張っています。柑橘産地のさらなる振興を図るため、2011年に有志で、地域一丸となって中晩柑の優良品種を導入する中晩柑部会を設立しました。

平成 30 年の豪雨災害によって大きなダメージを受けはしましたが、復旧復興に努め「興居島ブランド」を守っていきます。

また、近年イノシシによる柑橘の被害が増える中、狩猟免許を取得し被害防止にも努めています。

■経営のポイント？ それは「土地」と「資金」と「労働力」です。

農業で生活できることを証明できれば、農業を志す若者も増えるはず。経営を行う上のポイントはやはり「土地」と「資金」と「労働力」です。その3つをおさえることで品質の良いものを安定生産でき、経営基盤の強化が図られます。

また、地域に応じた栽培品種の選定も大切です。

■他産業の経験を活かした農業経営！

私は最初から農業をやっていたわけではありません。実は最初、地元量販店に勤務していました。そこでの販売や商品管理の経験は農業を経営していくうえでとても役に立っています。

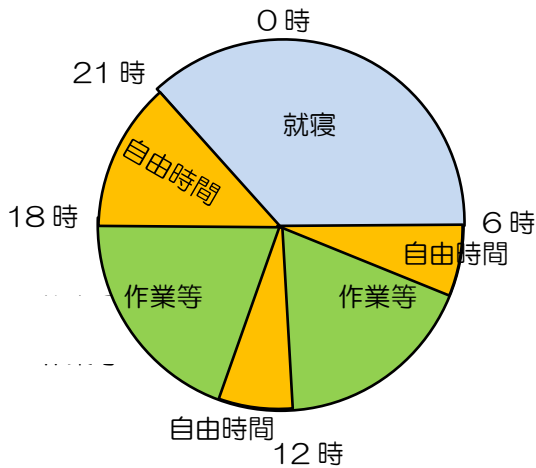


瀬戸内海を望むみかん園地



甘平の収穫

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

1 週間のうちほとんど農作業しています。柑橘の収穫、それが終わったら樹の剪定。夏には摘果などたくさんの仕事があり、イノシシの被害防止もあります。雨の日は家で休みます。また、年に一度は会社で視察旅行を行います。夏には産業用無人ヘリコプターの操作資格を活かして水田地帯の農薬散布を手伝っています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 収穫・選果が主で常に何らかの作業をしています →					
【通常期】	← 摘果に防除など常に何らかの作業をしています（雨の日は休み） →					休日



自慢の興居島みかん



たわわに実った伊予柑園

☆これからの夢や目指すもの☆

■「島の魅力」で島を再生！

島に昔からある物の素晴らしさや価値を掘り起こして、島の魅力を発信していきたいです。地域おこしで最も大切なのは人づくりです。行政にすべて頼るのではなく、まずは一人ひとりが自立していけるように頑張っていきます。

☆メッセージ☆

やはり、どんな時でも「初心忘るべからず」ですね。農業では土づくりや剪定、灌水、施肥、病害虫防除などの基本的なことを適期に行うことが重要です。また、どんな小さなことや少しの変化にも気が付く観察力を養っていくことが大切です。